

本文における引用・参考文献一覧 (著者のアルファベット順)
(資料「農業水路周辺で観られる淡水魚」の引用・参考文献は別にp105に記載)

- 赤田仁典、青山 茂、淀 太我、吉岡 基、柏木正章：ホトケドジョウの腹部白色線形状を利用した個体識別. 魚類学雑誌、52、153-156、2005.
- 青山 茂 (2000) : ナガレホトケドジョウの腹部白色線形状による個体識別法. 魚類学雑誌、47、61-65.
- Brown、 J. Lorna : An evaluation of some marking and trapping techniques currently used in the study of anuran population dynamics、 Journal of Herpetology、 31(3)、 410-419、 1997.
- 藤咲雅明・神宮字寛・水谷正一・後藤章・渡辺俊介：小河川、農業水路系における魚類の生息と環境構造との関係、応用生態工学会誌2 (1) 、53-61、1999.
- 藤咲雅明、鈴木正貴、水谷正一：魚類の生息からみた谷川における自然環境の再生と回復、農村と環境、19、60-67、2003.
- 福岡定晃：耕作放棄地の整備活動とリンクする在来植物の保全活動『生きものを育む田園自然の再生—農地・水・環境保全向上のための30のアドバイス』（編集：水谷正一）、農村漁村文化協会、56-57、2012.
- 林田寿文・新居久也・渡邊和好・宮崎俊行・上田 宏：サクラマススモルトの降下時における美利河ダム分水施設の評価、土木学会論文集B1 (水工学) 71(4)、943-948、2015.
- 広瀬慎一・小幡泰晴：近自然水路工法と維持管理の改善、農業土木学会、71、1009-1013、2003.
- 広瀬慎一・瀧本裕士・浜田 明：水路の水草内の流速測定、水土の知、76 (11) 、31-35、2008.
- 池田有希・川田貴章・伊藤将文・清水俊夫：バイカモ移植の全国各地の取組み、RIVERFRONT、81、30-33、2015.
- 井上千南・今泉勇介・柿野亘・眞家永光・丹治 肇：青森県上北郡七戸町の農業用谷津水路における魚類の生息分布の実態、青森自然誌研究、22、113-116、2017.
- 井上幹生・中野 繁：小河川の物理的環境構造と魚類の微生息場所、日本生態学会誌、44 (2) 、151-160、1994.
- (一社) 地域環境資源センター：田んぼの生きもの識別図鑑 改訂版、2017.
- 伊藤豊彰：生きものと共生できる農、生きものの保全活動をすすめよう！『生きものを育む田園自然の再生—農地・水・環境保全向上のための30のアドバイス』（編集：水谷正一、農村漁村文化協会、22-29、2012.
- 神宮字 寛・森 誠一・柴田直子：維持管理作業がイバラトミヨの営巣環境に与える影響、応用生態工学5 (2) 、169-177、2003.
- 門脇勇樹・久保田由香・佐貫方城・中田和義：環境配慮工法が施工された農業水路における魚類の選好環境：活動期と越冬期の比較、農業農村工学会論文集、305 (85-2) 、II_61-II_70、2017.
- 柿野 亘・水谷正一・藤咲雅明・後藤 章：利根川水系小貝川上流域の谷津内水路の魚類の生息密度に影響を与える環境因子の期別変化、農業土木学会論文集、247、19-29、2007.

- 柿野 亘・水谷正一・後藤 章：栃木県下における谷津水域の魚類の生息環境モデルの構築、農業農村工学会論文集、263、99-10、2009.
- 柿野 亘：ヨコハマシジラガイが生息する谷津田周辺の水路の保全への一提言、水土の知、78(7)、52-54、2010.
- 柿野 亘・伊藤寿茂：冬季における小規模な崩れに起因する谷津水路での水涸れがイシガイ類の生息に及ぼす影響、農業農村工学会論文集、82、165-172、2014.
- 上市市土地改良区：地域で取り組む外来植物の駆除、『生きものを育む田園自然の再生―農地・水・環境保全向上のための30のアドバイス』（編集：水谷正一）、農村漁村文化協会、54-55、2012.
- 環境省：恵庭ニュータウン「恵み野」農業用水路『「環境用水の導入」事例集～魅力ある身近な水環境づくりにむけて～』、142-144、2007.
- 鹿野雄一・高田（遠藤）未来美・山下奉海・田中 亘・小山彰彦・菅野一輝：奄美琉球におけるフナが生息状況と体色多型、魚類学雑誌 64(2)、95-105、2017a.
- 鹿野雄一・山下奉海・田中亘・小山彰彦・菅野一輝：南西諸島におけるニホンウナギの生息状況と地方名から推測されるオオウナギとのハビタットの違い、および生息場としての水田環境の重要性、魚類学雑誌 64(1)、43-53、2017b.
- KANO, Yuichi. ・ Yôichi KAWAGUCHI ・ Tomomi YAMASHITA ・ Yukihiko SHIMATANI: Distribution of the oriental weatherloach, *Misgurnus anguillicaudatus*, in paddy fields and its implications for conservation in Sado Island, Japan. *Ichthyological Research* 57(2)、180-188、2010.
- 加藤宗英・水谷正一・鈴木正貴・後藤章：小規模魚道の設置諸元を検討するための小型魚道の遊泳能力、農業土木学会論文集、73(1)、59-65、2005.
- 木南竜平・渡邊 清：ニジマス稚魚に対するPITタグの装着が生残と成長に及ぼす影響、静岡県水産技術研究所研究報告、48、27-30、2015.
- 喜多田村俊夫：日本灌漑水利慣行の史的研究、岩波書店、55、160-166、463-464、476-489、1950.
- 小出 博：日本の河川 自然史と社会史、東京大学出版、24-30、1970.
- 近藤高貴：用水路と二枚貝の生活『淡水生物の保全生態学―復元生態学に向けて―』（編集：森 誠一）、信山社サイテック、56-62、1999.
- 久保田由香・門脇勇樹・佐貫方城・中田和義：農業水路の環境配慮区間における魚類の移動と有効性、応用生態工学、20(2)、2018、印刷中.
- 久米 学・森 誠一：水田・水路生態系における魚類研究の発展に向けて、応用生態工学、15(2)、287-291、2012.
- 皆川明子・高木強治・樽屋啓之・後藤眞宏：非灌漑期の農業水路における魚類の移動と越冬、農業農村工学会論文集、269、77-84、2010.
- 三塚牧夫：伊豆沼・内沼周辺における小規模水田魚道の遡上実験に基づく設計、水と土、148、81-98、2007.
- 三浦一輝・斉藤裕也・伊藤一雄・大森秋郎：地元住人と行ったイシガイ科二枚貝類の農業水路

- からの救出と一時保管、応用生態工学、17 (1) 、41-46、2014.
- 水谷正一：地域生態系における水利システムの近代化、水利の風土性と近代化、志村博康編、東京大学出版会、30-41、1992.
- 森 哲・戸田 守：長期野外調査における個体識別法としてのPITタグの利用例：ヒメハブにおけるタグ残存率、爬虫両棲類学会報、2、59-672、2002.
- 森 晃・水谷正一・後藤 章：小河川における超音波テレメトリーを用いたナマズの行動解析、応用生態工学、16 (1) 、23-35、2013.
- 森 淳：水田生態系の変質『水田生態工学入門』（編集：水谷正一）、農村漁村文化協会、25-28、2007.
- 森 淳・渡部恵司・小出水規行・竹村武士：生息環境が共通する水田を用いた水田魚道による再生産効果、農業農村工学会誌、84(8)：35-39、2016.
- 守山拓弥・水谷正一・後藤 章：栃木県西鬼怒川地区の湧水河川におけるホトケドジョウの季節移動、魚類学雑誌、54 (2) 、161-171、2007.
- 守山拓弥・藤咲雅明・水谷正一・後藤 章：農業用の小河川、農業水路および河川間に形成された水域ネットワークにおけるウグイの移動ー栃木県西鬼怒川地区における事例ー、農業農村工学会論文集、254、1-10、2008.
- 南雲 稔・東 淳樹・広田純一・佐藤貴法・金田一彩乃：生態系に配慮した圃場整備水田におけるメダカの移動・分散、農業農村工学会大会講演会要旨集、744-745、2009.
- 中田和義・宮武優太・川井健太・小林蒼茉・成 成南・齋藤 稔・青江 洋：岡山県南部の農業水路におけるスイゲンゼニタナゴの選好環境、応用生態工学、19 (2)、117-130、2017.
- 中田和義・小林蒼茉・川本逸平・宮武優太・青江 洋：岡山県南部の農業水路における希少タナゴ類の人工産卵床利用、応用生態工学、20 (1)、33-41、2017.
- 野田康太郎・守山拓弥・田村孝浩・森 晃：水田水域におけるトウキョウダルマガエルの移動分散に関する研究、農業農村工学会大会講演会要旨集、343-344、2016.
- 農業農村工学会：水土を拓く、農村漁村文化協会、97、184、308-309、2009.
- 農林水産省：土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」、153、2001
- 農林水産省：環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き3ーほ場整備（水田・畑）ー、74-78、2004.
- 農林水産省：水田魚道に取り組むための手引き～楽しい水田魚道へのいざない～、47-50、2011.
- 農林水産省：多面的機能支払交付金【資源向上活動（共同）】地域資源の質的向上を図る共同活動の解説、44-45、50-52、2015.
- 農村漁村文化協会：農家の土木、農村漁村文化協会、130p、2017.
- 農村環境整備センター・ナマズのがっこう・メダカ里親の会：水田魚道づくりの指針、水谷正一監修、社団法人農村環境整備センター、pp71、2010.
- 農村環境整備センター：水田魚道づくりの指針、2010、pp53、2016.
- 奥島修二・伊藤清栄・長利洋・山本勝利：多面的機能維持のための水路管理に要する費用負担

- の事例、農業土木学会論文集、234、153-159、2004.
- 斉藤憲治・片野 修・小泉顕雄：淡水魚の水田周辺における一時的水域への侵入と産卵、日本生態学会誌、38、35-47、1988.
- Shrestha,A.B 、 Ezee,G.C,Adhikary,R.P 、 Ray,S.K. : Resource Manual on Flash Flood Risk Management,15-29、 61-64. 2012.
- 志村博康：農業水利と国土、東京大学出版、106-107、1987.
- 鈴木正貴・水谷正一・後藤 章：水田生態系保全のための小規模水田魚道の開発、農業土木学会誌、68(12)、1263-1266、2000.
- 鈴木正貴・水谷正一・後藤 章：水田水域における淡水魚の双方向移動を保証する小規模魚道の試作と実験、応用生態工学、4、163-177、2001.
- 鈴木正貴・水谷正一・後藤 章：小規模魚道による水田、農業水路および河川の接続が魚類の生息に及ぼす効果の検証、農業土木学会論文集、234、59-69、2004.
- 竹村武士・神宮字 寛・宮澤康人：秋田県駒場北地区にみる維持管理時の環境配慮、水土の知、76(8)、709-712、2008.
- 竹村武士・小出水規行・奥島修二・山本勝利・相賀啓尚：谷津田域におけるタモロコの移動と分散 一 個体識別法による追跡調査一、農工研技報、204、33-41、2006.
- 竹村武士・小出水規行・神宮字 寛・森 淳・渡部恵司：イバラトミヨ保全池における営巣特性一水草刈りの実施に係る実験環境下での営巣場所一、農業農村工学会論文集、268、17-22、2010.
- 竹内常行：溜池の分布について、地理学評論、4-11・12、1939.
- 田代優秋：泥上げによる水路底泥のAVS低減効果とその提示方法、農業農村工学会論文集、271、41-42、2011.
- 田代優秋：農業土木ではなぜ環境保全はうまくいかないのか『どうすれば環境保全はうまくいくのか一現場から考える「順応的ガバナンス」の進め方一』（編集：宮内泰介）、新泉社、86-112、2017.
- 栃木県農地水多面的機能保全推進協議会：環境配慮型水路 移動経路の確保『ひろげよう地域の輪 守ろう！田んぼまわりの生きものたち』（監修：水谷正一）、20-23、14-15、2015.
- 筒井義富・北澤大祐：手づくり施工の農村環境整備、農村漁村文化協会、pp134、2013.
- 宇田川武俊：生物多様性をもたらしたものとその意義一農業生産との関係からみたとき一『農山漁村と生物多様性』（編集：宇田川武俊）、家の光協会、18-32、2000.
- 山極二郎：地理学評論、4-11・12、1928.
- 山下奉海・河口洋一・谷口義則・鹿野雄一・石間妙子・大石麻美・田中 亘・斉藤 慶・関島恒夫・島谷幸宏：佐渡島の小河川における魚類を対象とした農業用取水堰改良効果の検証、応用生態工学、13、61-76、2010.
- 渡部恵司・小出水規行・嶺田拓也・森 淳・竹村武士：農業水路における魚類生息場の簡易評価手法の開発、農村工学研究報告、2（印刷中）、2018.